

音戸学校給食共同調理場の建替えについて

1 現状

音戸学校給食共同調理場は、旧音戸町の学校給食施設として昭和60年に建設され、音戸地区の小・中学校に給食を配送していましたが、少子化の影響により受配校及び提供食数が減少したため、平成26年4月からは倉橋小学校及び倉橋中学校を、平成27年9月からは警固屋中学校及び宮原中学校を受配校に追加して配送しています。

なお、施設の老朽化に伴い「呉市公共施設に関する個別施設計画」（令和3年3月策定）において令和6年度の建替えとしている本調理場は、建設時に2,000食を調理する施設として建設されていますが、現在は少子化により、その半数に満たない980食の提供食数となっており、必要以上の設備機器が配備されている状況であるため、効率的な調理に対応する設備機器などへの変更が求められています。

【参考】提供食数の推移

年 度	R元	R2	R3	R4	R5
提供食数/日	1,060食	1,040食	1,010食	1,000食	980食

2 施設の概要

- (1) 所在地 呉市音戸町波多見6丁目20番1号
- (2) 建築年月 昭和60年3月（築38年）
- (3) 構 造 鉄筋コンクリート造，2階建て（2階部分はスポーツ振興課所管の大浦崎会館）
- (4) 延べ面積 483平方メートル
- (5) 受 配 校 小学校：音戸小学校，波多見小学校，明德小学校及び倉橋小学校（計4校）
中学校：警固屋中学校，宮原中学校，音戸中学校，明德中学校及び倉橋中学校（計5校）
- (6) 運営方法 直営
- (7) 配置職員 事務員：4名，調理員：12名，配送員：4名，栄養士：1名

3 課題

施設の老朽化はもとより、主要設備であるボイラーや蒸気配管・給水管などの老朽化によって運営に支障を来しています。

現在は、給食提供を最優先に短期間でできる応急修繕により対応していますが、これら設備の応急修繕ができず長期間にわたる大規模修繕が必要となった場合には、やむを得ず給食の提供を中止する事態となります。

4 建替方針

(1) 調理能力

将来の少子化を見据え、受配校から警固屋中学校及び宮原中学校を除き、現在の最大調理能力2,000食から最大調理能力700食（供用開始時の見込み提供食数）に減じた共同調理場とします。

(2) 給食提供方法の変更

施設完成後は、警固屋中学校は警固屋小学校で、宮原中学校は宮原小学校で給食を調理する「親子調理方式」に提供方法を変更します。

5 建設予定地

建設候補地	地勢環境	配送距離	配送台数	総合評価	備考
呉市大浦崎スポーツセンター駐車場	×	△	◎	△	建設候補地の駐車場は、繁忙期には、駐車場の不足が生じ、別途確保の必要があるため、非効率である。
波多見小学校グラウンド	×	△	◎	△	建設候補地のグラウンドは、建物や配送車により1,000平方メートル程度狭あいとなるため、支障がある。
旧奥内小学校グラウンド	◎	◎	◎	◎	建設候補地のグラウンドは、現在、全面的な利用をしている団体はなく、建設に支障はない状況である。
旧田原小学校グラウンド	○	○	○	○	建設候補地のグラウンドは、利用頻度が高い状況である。他の候補地より配送車が1台多く必要になる。

上記評価を踏まえ、建設予定地を次のとおり選定しました。

建設予定地	旧奥内小学校グラウンド（呉市音戸町畑3丁目27番地内）
-------	-----------------------------

6 建設概要

(1) 建設面積

グラウンドの一部に建設面積500平方メートル程度の調理場の建設を予定しています。

なお、校舎及び屋内運動場並びに残りのグラウンドについては、今までどおり、地元自治会に管理を委託する予定です。

(2) 概算事業費

約3億9千万円を見込んでいます。

（実施設計、地質調査、建築工事、備品購入等）

7 今後の整備スケジュール

年度	R6	R7	R8
事業内容	実施設計、地質調査	建築工事、備品購入等	給食提供開始

8 今後の活用方針

(1) 現状

ア 有料利用：年10件程度（会議室利用：年間5千円程度の収入）

イ 減免利用：年100件程度（清盛スポーツクラブ主催の事業として利用）

ウ 大浦崎会館を含む大浦崎スポーツセンターの貸館等業務は清盛スポーツクラブに委託

(2) 課題

ア 夏場は、海水浴客が当該施設の駐車場を利用し、施設利用者の駐車に支障を来している。

イ 週末は駐車場が満車となり、近隣の公道に路上駐車をする車両が発生している。

ウ 1階部分は、調理場として建設されているため、他利用への転用は、改修に多額の経費が必要

エ 2階の会館部分は、雨漏りや空調設備が故障している等、施設・設備の老朽化が顕著

オ 調理場が移転した後も大型浄化槽について年間約67万円の管理・清掃委託料が必要

カ キャンプ場の給水管が当該施設の地中に埋設されているため、漏水があった場合、修繕が困難

(3) 今後の方向性

現状・課題を踏まえ、将来的には解体撤去し、駐車場として活用したいと考えています。

該当施設位置図

